

# 神戸港の経済効果の概要

令和2年3月

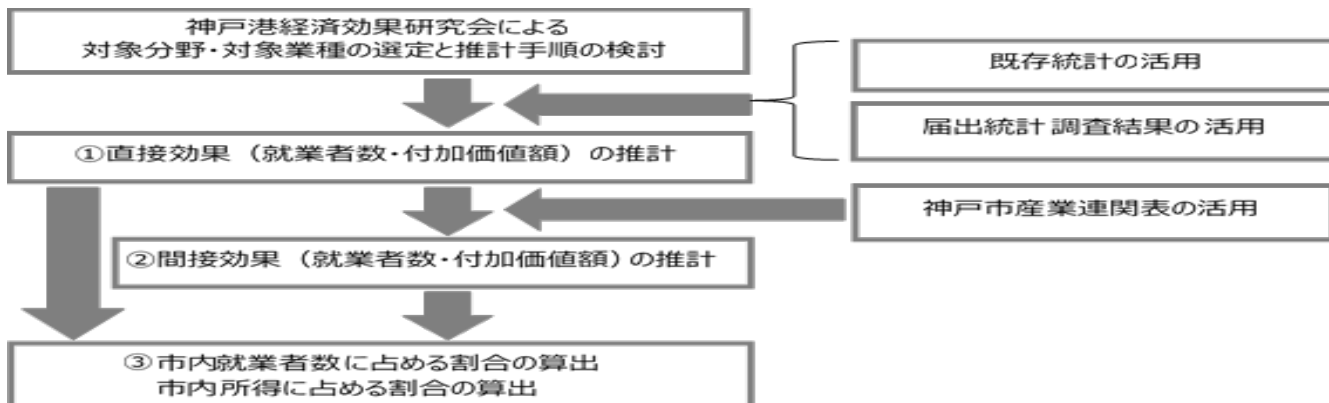
神戸市港湾局

神戸港の経済効果の推計を行うために神戸港経済効果研究会を開催した。以下は報告の概要である。

### 1. 調査の概要

前回調査の基準年次の翌年である、平成 16 年以降における神戸港を取り巻く社会経済情勢の変化を考慮しながら、神戸港が現在の市民経済に与える影響を、産業連関分析手法により推計を行った(図 1)。なお、基準年次は、市民経済を把握する上で用いる「神戸市市民経済計算」の最新推計値の年次を考慮して、平成 28 年とした。

図 1 推計手順の流れ



### 2. 対象分野の選定

対象分野としては、平成 19 年に実施した前回の調査の分析の対象分野 (①~③) に、新たに、大学 (④) を追加した。

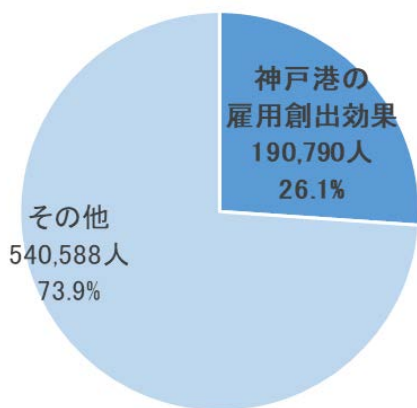
- ①企業活動が港湾機能に直接関連する産業である「港湾物流関連産業」
- ②生産活動面や立地面で港湾を活用する産業である「港湾活用産業」
- ③「みなと」を資源として活用している観光等の産業である「港湾親水関連産業」
- ④ポートアイランドの旧コンテナバースに立地する大学や六甲アイランドのコンテナバースに隣接する「大学」

また、「港湾活用産業」については、前回以降の状況の変化を考慮して、3 業種を追加した。

### 3. 推計結果

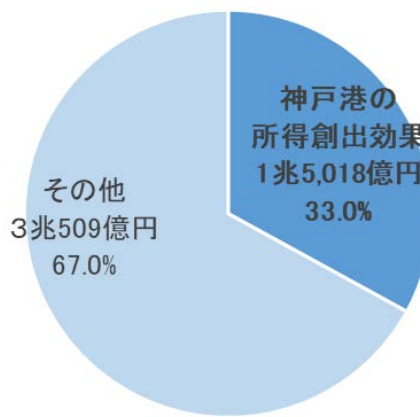
(1) 1. で示した推計手順で、推計された就業者数と付加価値額の結果は、図 2 および図 3 のとおりである。

図 2 市内就業者数に占める神戸港の雇用創出効果とその比率



市内就業者数 : 731,378 人  
(平成 28 年)

図 3 市内所得に占める神戸港の所得創出効果（名目値）とその比率

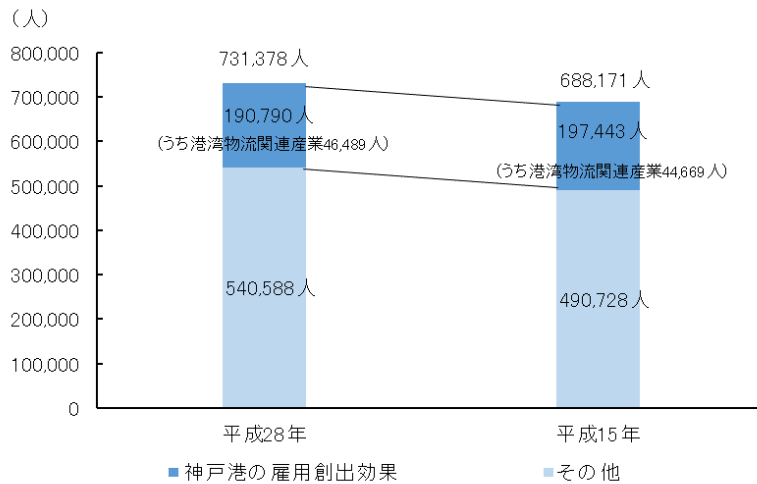


市内所得 : 4兆5,527億円  
(平成 28 年)

(2) 就業者数の前回推計との比較

	平成 28 年	平成 15 年	差
市内就業者数	731,378 人	688,171 人	+43,207 人
神戸港の創出効果	190,790 人	197,443 人	▲6,653 人
うち港湾物流関連産業	46,489 人	44,669 人	+1,820 人

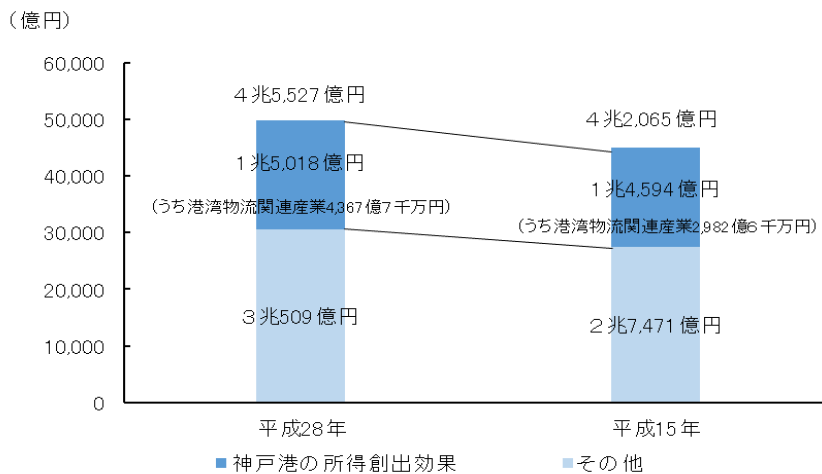
図 4 就業者数の前回推計との比較



(3) 付加価値額（名目値）の前回推計との比較

	平成 28 年	平成 15 年	差
市内所得	4 兆 5,527 億円	4 兆 2,065 億円	+3,462 億円
神戸港の創出効果	1 兆 5,018 億円	1 兆 4,594 億円	+424 億円
うち港湾物流関連産業	4,367 億 7 千万円	2,982 億 6 千万円	+1,385 億円

図 5 付加価値額の前回推計との比較



(参考) 実質値の推計結果

付加価値額については、国内総生産インプリシット・デフレーター（平成 23 暦年=100）を用い、物価上昇を取り除いた実質値を参考までに推計した。

	平成 28 年	平成 15 年	差
全体	4 兆 4,287 億円	3 兆 8,592 億円	+5,695 億円
港湾対象分野	1 兆 4,609 億円	1 兆 3,389 億円	+1,220 億円



神戸開港 150 年を記念して、神戸港の紋章が完成しました。  
英国・スコットランドの公的機関である紋章局（The Court of the Lord Lyon）  
に所属する紋章アーティスト、デイヴィッド・アラン氏によって、  
紋章学に基づき制作された、正式な西洋式紋章です。  
ヨーロッパにおける紋章の起源は 11 世紀の初頭と言われており、港における紋章は、  
初入港の船舶に授与する入港記念盾などのモチーフに使用されており、  
港のシンボルとして、親しまれています。  
神戸港の紋章には、神戸ゆかりの図案がちりばめられています。